



しあわせ

No.200

令和3年
(2021)
7月15日

おかげさまで

福知山市社協広報誌 しあわせ はこのたび

第

200号

を迎えることができました!!

昭和44年の第1号発刊から52年。おかげさまで
社協広報誌「しあわせ」は200号を迎えました。

これまで福祉お役立ち情報や地域の福祉活動の紹介など身近な話題をお届けし、また社協の活動内容のわかりやすい発信に心がけてまいりました。

これからも市民の皆さん「しあわせ」で、「よりよい生き方」ができる、「福祉のまち」づくりの身近な情報誌を目指していきます。

※過去の「しあわせ」で掲載した写真を使用させていただきました。

主な内容

2,3ページ … (発刊200号記念)福知山社協と福祉のあゆみ

4ページ …… 令和2年度 事業報告

5ページ …… 令和2年度の会費の使いみち

6ページ …… とりくみ・お知らせ

7ページ …… (特集)学生団体ふく子屋・共同募金申請受付

8ページ …… 地域のつながり・社協新役員のご紹介



ブログも見てね!



あの日・あの時!!

スタート

昭和27年(1952)

福知山市社会福祉協議会(社協)発足

昭和37年(1962)
心配ごと相談所開設昭和43年(1968)
全市民を会員とする
社協の会員制度発足昭和44年(1969)
社会福祉法人となる

善意銀行開設

老人家庭奉仕員派遣

『社協だより』創刊
第3号から
『しあわせ』と改称昭和46年(1971)
身体障害者家庭奉仕員派遣赤い羽根共同募金運動、
市内3か所で街頭募金昭和51年(1976)
福知山市総合福祉
会館開館 社会奉仕
活動センター発足高齢化が
進む時代でも、
誰もが安心して
住み続けられるように
皆で考えよう昭和62年(1987)
ボランティア基金設置ボランティアによる赤い
羽根の街頭募金実施昭和61年(1986)
ボラントピア事業実施昭和57年(1982)
第1回福知山市
福祉まつり開催昭和55年(1980)
老人福祉指導
専門員設置

移動入浴車派遣開始

福知山市ボランティア
センター設置昭和53年
(1978)
福知山ボランティア
連絡協議会
設置平成元年(1989)
地区福祉推進協議会
組織化始まる下川口地区福祉推進
協議会設立平成2年
(1990)上川口・金山・金谷・
雲原・下豊富地区
福祉推進協議会設立平成3年(1991)
ボランティアコーディ
ネーター設置ふれあいのまちづくり
事業実施社会福祉体験学習
事業開始惇明地区福祉推進
協議会設立平成4年(1992)
ふれあい福祉センター
設置上豊富・三岳地区
福祉推進協議会
設立平成5年
(1993)昭和・上六人部
地区福祉推進
協議会設立平成9年(1997)
琴引浜ナホトカ号
タンカーの重油流
出の支援に市民ボ
ランティアが参加ふれあい
いきいきサロン
活動開始すぐ近所に
気軽に交流
できる場が
あたらいいね
人部地区福祉推
進協議会設立平成8年(1996)
庵我地区福祉推進
協議会設立平成7年(1995)
阪神淡路大震災支援雀部地区福祉推進
協議会設立平成6年(1994)
大正地区福祉推進
協議会設立

～昭和から平成、

そして

福知山市社協広報誌「しあわせ」 第200号の発行にあたって

社会福祉法人
福知山市社会福祉協議会

会長 夜 久 豊 基

昭和44年8月に産声をあげた「社協だより」も（第3号から広報誌「しあわせ」に名称変更）今回で第200号の発行を迎えることが出来ました。

これもひとえに皆様方の社会福祉協議会への深いご理解と温かいご支援の賜物と存じます。改めまして皆様に心より感謝申し上げます。

さて、これから地域福祉活動については、新型コロナ感染

症が終息した後のあり方を見据えつつ、引き続き「これまでのつながりを大切にしながら、新しいつながりのかたちを構築する」ことが求められています。

社協職員は、これからも市民の皆様をつなぐ「ソーシャルワーカー」として地域に出向くことを大切にし、地域の皆様に寄り添いながら、住民主体の地域福祉活動を支援してまいります。

今回、広報誌「しあわせ」の第200号の発行を一つの節目として、市民の皆様に社会福祉協議会が、真に必要な「地域福祉を担う組織」と認識いただけるように、職員一同気持ちを新たにしっかりと取り組んで参りますので、今後も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。



つながり、支え合う
地域づくりのために、
力を合わせよう!!



令和へ～

未来へ向かって!!



福知山市社協広報誌「しあわせ」 200号発行に寄せて

福知山市長 大橋一夫

夏空が一際眩しく感じられる季節となってまいりました。皆様には日頃から本市福祉行政の推進に御理解と御協力をいただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。

福知山市社協広報誌「しあわせ」が今月号を以って、記念すべき第200号の発行を迎えることに心よりお祝いを申し上げます。

現在、少子高齢化の進行や未だ収束の兆しが見えない新型コロナウイルスの蔓延など、大変厳しい時代の中あります。

そのような中、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とし、これまでの常識が変わるニューノーマルの時代も迎えていますが、市民生活を支えていただいている社会福祉協議会の「ともに生きる豊かな地域社会の実現」に向けた取組は「誰もが健康で生きがいのあるまちづくり」を目指し、地域福祉を推進する上で非常に大きな役割を果たされております。

今後ともより良い「地域共生社会」の実現に向け、地域や関係機関・団体と連携しながら、取り組まれますことを御期待申し上げます。

本市としましても、既存の地域福祉に関する施策を更にきめ細やかなものにするとともに、AI、ICTの活用による新しい取組も進め、地域福祉のさらなる発展と推進を目指してまいります。

結びに、社会福祉協議会のますますの御発展と皆様の御健勝を祈念いたしまして、御挨拶とさせていただきます。

令和2年度 事業報告



地域福祉事業

地区福祉推進協議会の活動支援事業

- 登録：22地区

ふれあいいきいきサロン事業

- 登録：160サロン

ボランティアセンター運営事業

- 登録：61団体（1,381名）、個人：15名
合計1,396名

災害ボランティアセンター運営事業

フードバンク事業

- 生活にお困りの方への緊急で一時的な食糧支援
や子ども食堂等の福祉活動の支援

ささえあいパートナー事業

- 地域のちょっとした困りごとを抱えている方を
住民同士で支え合う有償の助け合い活動

福祉出前講座の実施

レクリエーション用品・ 車椅子等の貸出



権利擁護事業

あんしん・みらい事業

- 不安を抱えておられる高齢の方等が住み慣れた地域で
暮らし続けられるための必要なサポート
- 「老いじたくカレッジ」：3回、参加者：延べ81名

福祉サービス利用援助事業

- 認知症や知的障害のある方等への福祉サービスの利用
援助・金銭管理援助 利用者：57名

住み慣れた地域で安心して暮らしたいという願いを
実現するため、地域の皆さんや各関連機関と協働して
さまざまな福祉活動の推進に努めました。

介護サービス事業等

住み慣れた自宅で安心して生活できるよう
サービスを実施しました。

介護保険事業

- 居宅介護支援事業（ケアプラン作成等）
- 通所介護事業（老人グループデイサービス）
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業

障害福祉事業

- 居宅介護事業
- 重度訪問介護事業
- 行動援護事業（本所）
- 同行援護事業（本所・大江支所）
- 移動支援事業（本所・夜久野支所）
- 在宅重度身体障害児・者
入浴サービス事業



安心生活見守り事業

高齢の方や障害のある
方の暮らしを見守り
センターが24時間365日見守り

法人後見事業・成年後見相談

- 本会による法人後見としての役割、成年後見に
に関する相談への対応

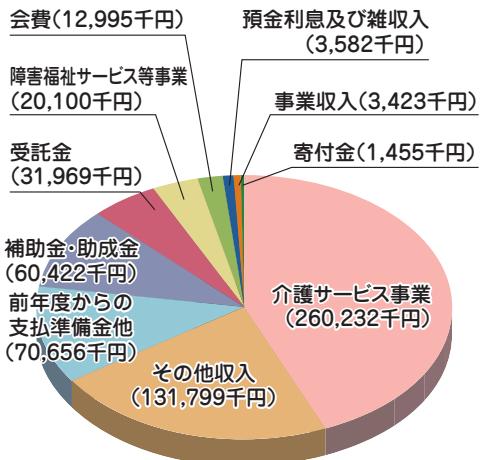
生活福祉資金の貸付・相談

- 低所得等で一時的に困窮されている世帯を対象
とする必要な費用の一部の貸付と相談支援

ふれあい福祉センター相談事業

- 日常生活での困りごとや悩みごと等に相談員が
対応（毎月第1金曜日 13:00～16:00）

収入総額 596,633千円



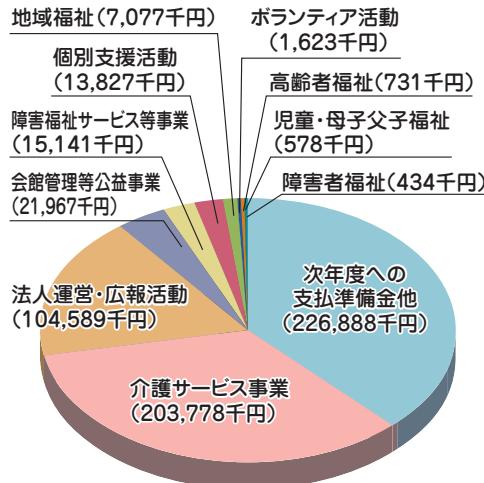
令和2年度 事業決算

社会福祉事業・公益事業 会計

5億9,663万3千円

対昨年度比
144,681千円増

支出総額 596,633千円



※詳細は社協ホームページをご覧ください。

令和2年度の会費 12,995千円の使いみち



皆様からの会費は、住民同士のささえあいによる地域福祉活動推進のために、
大切に使わせていただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。



金谷地区福祉推進協議会
子育て世帯への訪問・クリスマスプレゼント



災害ボランティアセンター
手作り防護服で医療・福祉関係者を応援するプロジェクト

**地区福祉推進協議会等の
地域福祉活動推進の支援 189円**
地域の実情に合った福祉活動
推進の支援として

フードバンク事業 9円
生活にお困りの方への食糧
支援や、子ども食堂等の
福祉活動の一役として



あんしん・みらい事業 18円
歳を重ねても住み慣れた地域で
日常生活を続けるためのお手伝いとして

ボランティアセンター 70円
ボランティアの啓発や相談強化のために



託児ルーム内での保育ボランティアの活動

会費の使いみち (500円に換算した場合)

災害ボランティアセンター 40円

平常時の備えと非常時の被災地への復旧活動のために

成年後見事業 25円

本会で法人後見の役割を担っていくために

福祉出前講座、広報活動 35円

地域福祉の取組みを身近に
感じていただくために

ささえ パートナー事業 30円

地域住民同士で支え合う
活動のために

安心生活見守り キー ホルダー事業 28円

外出時等でも安心できる
生活を届けるために



当事者団体支援 16円

同じ福祉課題を抱える人たちの
団体の支援のために

ふれあいいきいきサロン 40円

身近に集えるサロン活動の支援として



成仁地区 ふれあいいきいきサロン（100円会）

三和グループデイホーム 菜園リニューアル!!

三和地区民生児童委員協議会の方々にご協力いただき、三和グループデイホーム菜園の整備を行いました。綺麗な花々やさつま芋などの苗を植えて、ご利用者の方と植物の生長を楽しみにしています。

菜園を通じて、地域の皆さんがいつでも気軽に立ち寄り、交流いただければと思っています。



おしらせ

将来もしもの時に… こんなことで不安に思ったことがありませんか?

- ・入院が必要になった時、施設に入ろうと思う時、
…手伝ってくれる人がいない
- ・将来、認知症になった時、
…気付いて手助けしてくれる人がいない

はじめてみませんか? 老いじたく

～あんしん・みらい事業～

【ご利用できる方】

おおむね65歳以上の福知山市民（福知山市在住の方）
・事業の契約内容を理解し、判断できる方
・高齢者または障害のある方のみの世帯
・支援可能な親族がおられない方
＊利用料の他、別途預託金が必要な場合があります。

【主なサービス内容】

- ①電話と月1回の訪問による見守り
- ②福祉サービスの利用や日常的金銭管理の支援、入院時や福祉施設の入所契約手続きなどの支援
- ③入院時や施設入所時の保証機能、葬儀・埋葬等の手続き支援



【ご相談・お問い合わせ】 権利擁護センター
TEL 0773-25-3211 FAX 0773-24-5282

生活福祉資金コロナ(特例)貸付の申請受付延長

申請受付 令和3年8月31日まで

新型コロナの影響による休業や失業などにより生活資金でお困りの方に向けた、緊急小口資金などの特例貸付を実施しています。
※貸付には審査があります。

【お問い合わせ】 権利擁護センター
TEL 0773-25-3211 FAX 0773-24-5282

要介護認定【要介護1以上】を受けられている方や
障害のある方等に

安心生活見守り事業のご案内

～ボタンひとつつながる安心～



一人暮らしだし、
もしものことがあったら
どうしよう……

ご自宅に、ボタンひとつで連絡できる
緊急発信装置を設置し、

見守り支援や福祉に関する相談を行います。



緊急ボタン 24時間365日応答・対応

救急車の手配が必要な場合には、消防署に通報し、ご家族にも連絡します。

相談ボタン 受付時間 9:00~17:00

日常生活上の健康・介護の相談を専門職がお受けします。

【ご相談・お問い合わせ】 介護支援課
TEL 0773-23-1333 FAX 0773-23-8555

[活動団体紹介]

学生団体 ふく子屋



「ふく子屋」は、福知山公立大学の学生を中心となり、地域の子どもたちを対象とした活動をされている団体です。昨年度は、コロナ禍の中ではあったものの、今だからできることをメンバーで考え続け、「少しでも子どもたちに楽しんでもらえることを！」という思いで活動されました。

ハロウィンの要素を取り入れた「仮装お菓子探し」、自宅時間で楽しんでもらえるようにと「手作りリスノードームキットのお届け」、屋外で思いっきり遊んでもらう「世界の鬼ごっこ」など、楽しいアイディアで子どもたちと交流されました。

代表の齋藤さんは、「コロナ禍で大変な状況だったけど、みんなで話し合うことで色々なアイディアが出てきて、活動に繋げることができました♪」と言われていました。これからも“話し合う”ことを大切に活動を継続していくよう応援しています！

※共同募金配分金活用事業です。

皆様の地域福祉活動に

共同募金 助成金

を活用してみませんか

申請受付中!!

【助成対象事業の例】

- ・地域の見守り活動
- ・居場所づくり活動
- ・日常生活に不安を抱えている方への支援活動
- ・地域の様々な人が交流する福祉イベントなど

	歳末	一般
申請	締切 令和3年8月31日(火) ※必着	
審査	プレゼンテーション審査会 令和3年10月～11月頃 予定	
決定通知	助成の決定 令和3年12月頃 予定	
助成金交付	【令和3年度 実施事業】として 令和3年12月頃 交付予定	【令和4年度 実施事業】として 令和4年6月頃 交付予定
報告	事業終了後、領収書と写真等を添付した報告書を提出	

申請の条件

- ・事業実施団体の管理・運営費ではなく、
福祉事業に直接活用するものであること
- ・助成金の**使途が明確**であること
- ・共同募金運動への協力と周知を行うことなど



申請に関わる様式等は、社協の窓口で配布しています。また、社協ホームページの共同募金ページよりダウンロードできます。



【ご相談・お問い合わせ】福知山市共同募金委員会（事務局：社協）
TEL 0773-25-3211 FAX 0773-24-5282

善意の寄付 ありがとうございました

令和3年3月21日～6月20日
(敬称略・受付順)

こちらの内容は、個人情報保護の為、
ホームページへの掲載は自粛させていただきます。



寄付金のお願い

社協では、福祉事業推進のために、多くの方から善意(現金や物品等)のご寄付をいただいている。

寄付金は、安心生活見守りキーホルダーの配付やふれあいきいきサロン活動の支援などの
誰もが安心して暮らせる地域福祉の推進事業に活用させていただいている。

皆様のあたたかいご支援、ご協力をお願いします。



手作り肩たたき棒 お届けプロジェクト



～コロナ禍の中、
在宅で気持ちよく
過ごしてもらうために～

新型コロナの影響で外出自粛などが続いています。そうした中、連合婦人会旧会長会「翔（しょう）」の役員の皆さんのが、コロナ禍で外出しにくい高齢者の方々に、「在宅生活で少しでも役に立てば」と、広告紙などを丸めて布地で巻いた「手作り肩たたき棒」を作製され、社協に寄贈いただきました。

社協では、さっそくケアマネジャーを通して高齢者の方々にお届けさせていただきました。

お届けした方からは、「ちょうどよい硬さで気持ちいい！こんな時だけど、プレゼントをいただき嬉しい気持ちになりました！」など喜びの声をたくさんいただきました。

コロナ禍の中、暗い話題も多いですが、「翔」の皆さんがあたたかい気持ちがお届けした方にしっかり届いたと思います。

社協では、これからも地域の皆さんと一緒に“あたたかい地域づくり”を進めていきます！

地区
担当職員に
声をかけて
ください!!



社協では、主に小学校区を単位として、地区担当職員を配置しています。地区担当職員は、ふれあいきいきサロンや地区福祉推進協議会など、地域の皆さんのが主体となって行われる小地域福祉活動の活動方法などを、地域の皆さんと“一緒に”なって考える職員です!!

これからも社協は、地域の皆さんとつながり、支え合う地域づくりのために、ぜひご一緒に活動させていただけたらと思います。お気軽に社協までお声かけください。



詳しくはこちらを
ご覧ください。



社協新役員をご紹介します

令和3年6月21日現在

会長	桐村博之	評議員	岩松定幸	土田泰子	阿部雄司
夜久豊基	関三千彦	高木一郎	西村寅夫	安達宣彦	小谷充
副会長	樋口智子	荒木智子	河谷寅博	嶋彰樹	大谷誠
井土昇	森田雅子	塩見満博	今井田政	細田秀樹	大谷悟
廣田真	監事	渡辺英俊	多田明山	見沢裕二	中嶋恵子
和久敏一	吉田勝	塩見誠	大曾根泰	林圭樹	白川治
常務理事	谷垣均	土田正博	岡村修	今川良和	西見子
田中悟	吉良常夫	加藤泰子	根岡厚	松本成徳	大吉孝美
理事	顧問	荒木千鶴	島松治	柳井津佑健	植田健太郎
大本夏代	松田規	嶋尾充	中新井健二郎		

■ 記事に関するご質問は…

社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会

〒620-0035 福知山市字内記10番地の18
(福知山市総合福祉会館内)

地域福祉課、権利擁護センター

TEL.0773-25-3211
FAX.0773-24-5282

介護支援課

TEL.0773-23-1333
FAX.0773-23-8555

三和支所

TEL.0773-58-3713
FAX.0773-58-3732

三和グループデイホーム

TEL.0773-59-2025
FAX.0773-59-2026

